

自宅学修期間中の課題について

●地域創成学科 生活基礎科目「必修科目」

地域創成プロジェクト演習 (担当：地域創成学科教員)

めばえシステムで「地域創成学科報告集」をデータで配信するので、ノートを取りながら読み込みましょう。授業開始後、ノートを参考にしながらプロジェクトごとに意見交換を行います。

●地域創成学科 専門科目「選択科目」

女性文化史 (担当：知野 愛)

※自宅にある書籍や事典、またはネット検索により、次のことがらを調べ、関連することを書き写す。用紙(自宅にある用紙、ノート、ルーズリーフなど)に各項目 40 字×10 行以上、手書きで書く。文章の最後に、何から書き写したかを明記する(書籍名、ネット検索ならば <http://～>というアドレスなどを記入)。授業開始後に提出すること。理解度 8 割以上を合格とする。

- 1, 福島県出身の山川捨松の生涯について
- 2, 山川捨松と親交があった津田梅子の生涯について
- 3, 福島県出身の瓜生岩の生涯について

日本史演習 (担当：佐藤愛未)

*シラバス 3 回分の課題

- 1) 授業 3 回分のレジュメを配信するので、よく読んでおくこと。
- 2) システムめばえにて資料を配信しますので、それを読んで対応をしてください。

課題は、A4 用紙 1～2 枚程度でまとめてください。写真・図の挿入可能。なお、参考にした図書・資料・HP など(いわゆる出典)は本文の最後に必ずのせること。(登校時提出)
評価基準：A4 用紙 1 枚以上かけていること。出典がかけていること。自分の考えがかけて

いること。自分の言葉でかけていること。

考古学実習（担当：會田容弘）

第1回： 猪苗代湖の自然史

インターネット検索で「猪苗代湖の歴史」と「沼沢火山」「始良丹沢火山灰（AT）」を検索し、それらを編集し、wordA4版に貼り付け、提出する。提出されたレポートで授業の理解度を評価する。

第2回： 笹山原遺跡 2019年の発掘調査

MOCAに2019年の笹山原遺跡発掘調査の過程のパワーポイント、『地域創成学科報告集』第1集に掲載した「2019年度考古学実習報告」のPDFデータを添付しておく。両者を自学自習して、発掘調査の理解を深める。

第3回： 笹山原遺跡発掘調査の歴史

2001年から始まった笹山原遺跡の発掘調査を年度ごとにまとめたパワーポイントをMOCAに添付し、学生はそれをダウンロードして自学自習を行う。その中で印象に残ったことをA4版1枚にまとめて提出する。提出されたレポートで授業の理解度を評価する。

情報サービス論（担当：和知 剛）

	課題の内容	備考
第1回	Web上で読める「ウィキペディアタウン」に関する任意の論文を一本選び、800字程度に概要をまとめること。	「論文」とは学術雑誌（大学紀要を含む）に掲載された、専門的知識に基づく記事を指す。
第2回	Web上で読める「新聞」に関する任意の論文を一本選び、概要を800字程度にまとめること。	同上
第3回	Web上で読める「研究不正」に関する任意の論文を一本選び、概要を800字程度にまとめること。	同上

それぞれの課題についてレポート（Microsoft Word等を利用して作成のこと）を作成しておき、面接授業開始後に提出のこと。レポートはそれぞれ、その課題を理解しているかどうか、理解に基づき適切に専門用語を用いて論理的に分掌を記述しているかどうか、誤字脱字がないかどうかを見ます。

図書館制度・経営論 (担当：和知 剛)

	課題の内容	備考
第1回	郡山市の「組織表」に目を通し、市立図書館(公共図書館)が地方自治体の組織においてどのような位置づけにあるのか、また何故そのような位置づけになっているのかを考えること。他の市町村との比較が望ましい。 https://www.city.koriyama.lg.jp/material/files/group/53/R2soshikizu.pdf	字数は問わない
第2回	地方自治法・教育基本法の条文にそれぞれ目を通し、図書館法との関係を考察すること。図書館法と教育基本法の改正が連動していることがあることに配慮すること。 地方自治法> https://elaws.e-gov.go.jp/search/elawsSearch/elaws_search/lsg0500/viewContents?lawId=322AC0000000067_20191001_428AC0000000013 >教育基本法 https://www.mext.go.jp/b_menu/kihon/about/mext_00003.html >図書館法 https://elaws.e-gov.go.jp/search/elawsSearch/elaws_search/lsg0500/viewContents?lawId=325AC0000000118_20190607_501AC0000000026	字数は問わない
第3回	図書館法の制定当時の条文と現行の条文を比較し、何が変わったのかをまとめておくこと。 図書館法(1950年) http://www.shugiin.go.jp/internet/itdb_housei.nsf/html/houritsu/00719500430118.htm	字数は問わない

それぞれの課題についてレポート (Microsoft Word 等を利用して作成のこと) を作成しておき、面接授業開始後に提出のこと。レポートはそれぞれ、その課題を理解しているかどうか、理解に基づき適切に専門用語を用いて論理的に分掌を記述しているかどうか、誤字脱字がないかどうかを見ます。

情報資源組織演習 (担当：和知 剛)

	課題の内容	備考
第1回	次の記事を読み, 要点を 800 字程度にまとめておくこと。 >渡邊隆弘「新しい『日本目録規則』のすがた:何が新しくなるのか」 (『現代の図書館』55(4)) https://www.jla.or.jp/Portals/0/data/iinkai/mokuroku/gendai_no_toshokan_55-4watanabe.pdf	
第2回	次の記事を読み, 要点を 800 字程度にまとめておくこと。 >「『日本目録規則 2018 年版』刊行・公開について」(2018.12.25) https://www.jla.or.jp/Portals/0/data/iinkai/mokuroku/issuing201812.pdf	
第3回	次の記事を読み, 要点を 800 字程度にまとめておくこと。 >木村麻衣子「NCR2018 で書誌がかなり自由になる。だから典拠が必要になる」(『図書館雑誌』113(8)) https://www.jla.or.jp/Portals/0/data/iinkai/mokuroku/kimura201908.pdf	

それぞれの課題についてレポート (Microsoft Word 等を利用して作成のこと) を作成しておき, 面接授業開始後に提出のこと。レポートはそれぞれ, その課題を理解しているかどうか, 理解に基づき適切に専門用語を用いて論理的に分掌を記述しているかどうか, 誤字脱字がないかどうかを見ます。

情報サービス演習 (担当：和知 剛)

	課題の内容	備考
第1回	「パスファインダー」について書かれた任意の論文をひとつ選んで, その概要を 1600 字程度にまとめること。	「論文」とは学術雑誌(大学紀要を含む)に掲載された, 専門的知識に基づく記事を指す。
第2回	他の図書館で作成されているパスファインダーを参考にして, 初心者がある主題を調査するためのパスファインダーを作成すること。主題は①卒業研究, ②趣味の中から選ぶこと。	第2回, 第3回で合わせてひとつのパスファインダーを作成する。
第3回	第2回に引き続き, 他の図書館で作成されているパスファインダーを参考にして, 初心者がある主題を調査するためのパスファインダーを作成すること。	

それぞれの課題についてレポート（Microsoft Word 等を利用して作成のこと）を作成しておき、面接授業開始後に提出のこと。レポートはそれぞれ、その課題を理解しているかどうか、理解に基づき適切に専門用語を用いて論理的に分掌を記述しているかどうか、誤字脱字がないかどうかを見ます。

博物館実習（担当：會田容弘・仲田佐和子・佐藤愛未）

第1回：全体ガイダンス

博物館実習の年間実施計画、博物館学外実習などをまとめたパワーポイントを MOCA からダウンロードし、視聴する。『地域創成学科報告集』第1集「II. 博物館実習報告」の PDF データをダウンロードし、実習の内容と先輩の学外実習報告を読み、授業内容を十分理解する。

第2回：博物館展示実習について

「学芸員養成課程の実質化と地域貢献の試み—郡山女子大学短期大学部文化学科を例として—」（會田・仲田・桑野2016）の PDF データをダウンロードし、熟読する。ここに博物館展示実習を授業の中に組み込んだ趣旨と実践内容が記されている。これを読んで、博物館学芸員になるためのスキルをどのようにして獲得すべきか、学生の立場でレポート A4 版1枚を書いて提出する。提出されたレポートで授業の理解度を評価する。

第3回：博物館展示実習の実際

2019年に実施した博物館展示実習の過程をパワーポイントにまとめたものを視聴する。パワーポイントの最後に、授業レポートの課題が提示される。提出されたレポートで授業の理解度を評価する。

博物館教育論（担当：仲田佐和子）

第1回

課題

博物館教育活動で行われている展示以外のもの（講演会、見学会、ギャラリートーク、ワークショップ等）は、具体的にどんなものがあるか、博物館等のホームページなどを調べて、1館以上の例を A4 判で1枚以上にまとめてください。授業開始後の初回の授業で提出してください。

評価

1館以上について調べていること。

参考にしたホームページ等が明示されていること。

調べたうえで、わかったこと、自分の意見が明確に書いてあること。

第2回

課題

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、休感を余儀なくされている博物館施設が多くあります。それらの博物館施設が、インターネットを使って展示資料を公開していたり、その解説を配信する試みをしています。1館以上の配信を実際に見て、A4判で1枚以上の感想、意見をまとめてください。授業開始後の初回の授業で提出してください。

評価

1館以上について調べていること。

参考にしたホームページが明示されていること。

調べたうえで、わかったころ、自分の意見が明確に書いてあること。

第3回

課題

第2回で取り上げた配信について、利用者の満足度をより上げるためにはどのような工夫が考えられるか、自分の考えをA4判で1枚以上にまとめてください。授業開始後の初回の授業で提出してください。

評価

1館以上について述べていること。

参考にしたリンクや書籍等が明示されていること。

自分の意見が明確に書いてあること。

博物館展示論（担当：齋藤美保子・仲田佐和子）CD2227

下記の博物館・美術館について調べ、解説をA4一枚にまとめなさい。

1. 福島県立博物館
2. 東京国立博物館
3. ルーヴル美術館

授業内で、紹介し評価します。

博物館情報・メディア論（担当：福島ひろ子）地域創成学科2年生および科目履修生

休校中、以下の三つの課題を与えますので、それぞれネット検索などを利用して取り組むこと。調べた内容をそれぞれに要約し、A4サイズ用紙3枚以内に纏め、登校後提出すること。

- ① 地域社会における博物館の役割について。ご自分が住んでいる地域のことを踏まえながら、あなたの考えをまとめなさい。

- ② 著作権について。ネット検索などを利用して、あなたの理解を述べなさい。
- ③ 政府が提唱している情報社会「Society5.0」について。ネット検索などを利用して、資料収集し、その意味をよく理解しなさい。

評価のポイント:きちんと内容を把握しているかどうか、自分の言葉でまとめているかどうか、誤字脱字があるかどうかを評価のポイントとする。

油彩画Ⅱ (担当:浅野 章)

シラバス 3 回分の課題です。5 月からの授業開始時に出来上がったエスキース作品を提出してもらいます。なお、この課題の理解度が 7～8 割に達したことを前提として次の項目を評価の観点とします。①提出作品の目標達成度が 70%以上であること (配点 80 点) ②課題に対する関心・意欲・態度 (配点 20 点)

- 1- 道具点検…各自油絵具や筆などを点検して不足分を確認する。授業に関連する道具や材料などを事前に調べておく。
- 2- 油彩画 I で学んだ、油彩画に関しての考え方や技術に則して特色や歴史についての復習しておく。
- 3- 表現したいテーマについての取材やモチーフ選定を少しずつ進める。テーマやモチーフがある程度決まったらエスキースを試してみる。

版画表現 (担当:齊藤弘久)

1. 版画基礎で学んだ 4 版種(石版画、銅版画、木版画、シルクスクリーン)の技法の理解を深める。
2. 身の回りにある凹凸のついた形状の物(版として)に紙を当て上から鉛筆やクレヨン等の描画材料で擦り(フロッタージュ技法)作品を仕上げる。
2. 消しゴムで何種類かの版を作りスタンプ効果を利用して作品を仕上げる。
 - ・提出 2、3 回目の内容で作品 2 点を提出する。
 - ・評価 2、3 回目の制作で創意工夫して作品を制作する事。

木彫表現 (担当:黒沼 令)

木彫とは木を素材として作品を造形する技法の事です。彫刻的、または工芸的な木彫についての実制作が授業の主な内容です。

シラバス 3 回分の課題として、中学校、高校時代の美術の教科書やインターネットを活用して以下の内容について、自学自習してください。

1. 好きな、あるいは気になる木彫作品について調べて、好きな理由や気になった理由を書

く。

2. 1で取り上げた作品の作者について調べる。

3. 1で取り上げた作品の技法や表現について調べてまとめる。

◆提出方法：それぞれ A4用紙 1 枚（参考画像やイラストなど含む）にまとめて提出する。

◆評価の観点：①自分の考えや思いが伝わる内容であるか

②詳しく調べて、まとめてあるか

③調べた内容について、発見などが見られるか

ビジュアルデザイン I （担当：松田理香）

（二年生Ⅲ期／地域創成額探求：選択科目 1 単位） CD2163

[1 回分]

ビジュアルカルタ素材となる読み札のキーワードを五十音で考えます。授業開始日に回収します。

例) テーマ：私の好きなデザート あ：アイスクリーム い：イチゴ う：梅ゼリー

[2・3 回分]

キーワードを連想させる適切な写真を撮影し、データとして保存しておいてください。

後日、学科の複合機で出力し課題作品の材料とします。※撮影の際はモラルやマナー、著作権などに配慮すること

例) あ：アイスクリームの写真 い：イチゴの写真 など

<評価の観点>：この授業は、学科のディプロマ・ポリシーに照らして「知識理解」

「創造的思考力」の 2 つの観点から評価をします。

Web デザイン （担当者：小松太志）

（二年生Ⅲ期／地域創成学科選択科目 1 単位） CD2173

[1～3 回分]

▼受講にあたって

- ・ 受講生は、下記の教科書を購入してください。

「Web クリエイター能力認定試験 HTML5 対応 スタンダード 公式テキスト」
（電子書籍版 1,925 円、紙書籍版 2,750 円） 出版社: FOM 出版（2015）

※前年は受講生から希望を取り、紙書籍版の購入希望者が 10 名を超えたため出版社から 1 割引で一括購入することができました。今年度は希望を取ることが難しい状況のため

め、紙書籍版の一括購入は実施しません。電子書籍版は紙書籍版より3割ほど安価であり、どこでも閲覧できる利便性もあるため、電子書籍版の購入をおすすめします。ただし、紙書籍版を購入しても問題ありません。使用する電子書籍リーダー（kindle や kobo など）は問いません。

▼課題：

テキスト第2章までの内容を自学自習してください。

- ・ p.8「本書をご利用いただく前に」を参照して、実習用データを大学貸与ノートパソコンにダウンロードしてください。
- ・ pp.15-33「第1章 Web サイト・制作の基礎知識」について
 - 貸与パソコンは WindowsOS のため、pp.28-34「Mac OS X の場合」は不要です。通学可能になった場合、授業では MacOS 上で Adobe Dreamweaver という Web サイト作成ソフトを使用します。
- ・ pp.35-56「第2章 HTML の基礎」
 - テキストをよく読み、指示に従って HTML を編集してください。
 - 通学開始後、復習用授業を実施するとともに、データを提出してもらいます。

▼評価の観点

- ・ 学科のディプロマ・ポリシーと照らし合わせて、「知識理解」「課題解決力」を重視します。テキストの内容を十分に理解してください。

▼備考：

- ・ 興味のある学生は、第2章以降も進めてみましょう。
- ・ Web 学習においては、インターネット上に多くの情報が存在するため、十分に活用して理解を図ってください。

ボランティア活動（担当：山口 猛）

本科目の学習対象は、課外活動におけるボランティアへの参加である。しかしながら、新型コロナウイルス感染防止の観点から、今年度は、ボランティアの参加は行わず、学内での座学とする。ボランティア活動の意義を学ぶための予習として、以下3つの課題に取り組むこと。

1. あなたが理想とするボランティア像についてまとめ、200字程度でまとめなさい。※ノートに手書きで良い。過去の先輩が参加したボランティアに照らし合わせ、ボランティア精神を授業中に自己評価する。
2. スマートフォン等のインターネットメディアを活用し、ボランティア活動に関する事

例を調べ、自身が感動したボランティア活動に関する内容を見つけなさい。※スマートフォンに保存・メモ等で良い。自分の理想・想像を超えたボランティアの存在を知り、授業中に発表する。

3. 2で調べたボランティアに、もし自身が参加することになった場合、自分に不足している能力について考え、200字程度でまとめなさい。※ノートに手書きで良い。ボランティア・地域活動の創造を意識した自己成長の計画が出来るかを計るための、マインドマップ、ルーブリック評価を行う。

情報メディア論（担当：山口 猛）

本科目の学習対象はテレビ・新聞・広告・インターネットなど、身近なメディアの理解である。自宅学習においてパソコンが手元にない場合も考慮し、以下の通り、パソコンを使用しない3つの課題に取り組むこと。

1. 現在、「テレビ・新聞・広告・インターネット」の中で、自身が最も利用しているメディアの活用法について、400字程度でまとめなさい。※ノートに手書きで良い。授業中に発表する。メディア特性の理解度を評価する。
2. 現在、「テレビ・新聞・広告・インターネット」の中で、自身が最も利用していないメディアについて、利用をしていない理由と、そのメディアの利用を増やすための現実的な対策について400字程度でまとめなさい。※ノートに手書きで良い。授業中に発表する。メディア特性の理解度を評価する。
3. 新聞を1部隅々まで熟読し、気になる記事を見つけ、スマートフォン等で写真に収めなさい。本科目の提出課題「新聞スクラップブック」の予習である。授業中に発表する。

情報処理Ⅲ（担当：山口 猛）

本科目の学習対象はExcelである。自宅学習においてパソコンが手元にない場合も考慮し、以下の通り、パソコンを使用しない3つの課題に取り組むこと。

1. 本科目でExcelを学ぶことで、将来どのようにExcel活用をしたいか、400字以内でまとめなさい。Excel学習の目的を理解しているのか評価する。

※ノートに手書きで良い

2. 身の回りにある資料・本・新聞などで、グラフや集計をしているものを3つ見つけ、スマートフォンなどで写真に収めなさい。Excel学習の目的をより明確なものとし機能名と結び付けられるかを授業で解説する。
3. 2で写真に収めたものの中から、自身が最もグラフ・集計の資料として魅力を感じるものを1つ選び、その理由を400字以内でまとめなさい。※ノートに手書きで良い。写真を用いて、プレゼンテーションをし、Excelの活用例をクラス内で共有する。

地域社会と食生活（担当：加藤雅子）

下記の課題1～3について、それぞれレポートとしてA4一枚にまとめなさい。レポートは第1回授業時に提出（表紙不要。レポートの1行目には学科名、クラス、番号、氏名を記載し、三枚をまとめ左上をホチキスでとめる。）。

なお、課題2および3については、無理のない範囲で家族に聞いたり、高校などの教科書や資料集、またはインターネット等も使い調べなさい。

課題1. 「日常の食生活」を振り返る

自分の「日常の食生活」を振り返るため、1日分の食事や運動の記録を作成する。また、食事の記録として、写真を撮影しておく（写真は授業時の振り返りに使用）。

*レポート内容：①日にち、②体調（良い・普通・悪い）、③食事の時間と内容と誰と食べたか（朝食・昼食・夕食・間食）（記載例；◆朝食7時00分 ◆ご飯、ねぎと豆腐の味噌汁、卵焼き、〇〇の煮物、ほうれん草のおひたし、◆食事をした人：母）、④運動の内容（記載例；散歩30分）、⑤感想

課題2. 地元の郷土料理を調べる

地元の郷土料理（1点）について、次の内容をまとめなさい。（地元に郷土料理がない場合には、地域を広げる）

*レポート内容：①料理名、②地域（記載例：福島県郡山市）、③食べる時期・行事とのかかわり、④料理の写真またはイラスト、⑤料理の作り方、⑥感想、⑦参考文献

課題3. 家庭で行っている行事食を調べる

行事食とは季節ごとの行事やお祝いの日食べる特別の料理を言います。家庭で行われている行事食（1点）について、次の内容をまとめなさい。

*レポート内容：①行事、②料理名とその料理を食べる意味・由来、③地域（記載例：福島県郡山市）、④料理の写真またはイラスト、⑤料理の作り方、⑥感想、⑦参考文献

〈評価の観点〉

- ①わかりやすい文章になっているか
- ②誤字脱字がないか
- ③内容を理解したか
- ④課題に関心を抱いたか
- ⑤独自の発想をしているか

卒業研究 CD2100

● 美術史（担当：齋藤美保子）

各自の研究を進めておいてください。授業開始後、各自が進めた研究内容を紹介し、議論しましょう。

● 宗教学（担当：福島寅太郎）

三回の課題は下記のとおりです。

各自の卒業研究テーマに関連した先行研究(著書、論文など)にいて、ネット検索などを利用して入手し、その内容を要約し、A4 サイズ用紙 3 枚以内に纏め、登校後提出すること。

評価のポイント:きちんと内容を把握しているかどうか、自分の言葉でまとめているかどうか、誤字脱字があるかどうかを評価のポイントとする。

● 西洋史（担当：桑野 聡）

各自の希望するテーマについて、以下の3点に注意して3つ以上の段落を用いて文章にまとめてください。(授業時に提出予定)

- 1 そのテーマに関心を持った理由を説明してください。(動機)
- 2 そのテーマについて、これまで読んだことがある文献があれば紹介してください。(先行研究・研究史)
- 3 そのテーマで探求したいことを言葉に整理してみてください。(問題設定)

授業開始後、各自発表を行い、討論を行う。

● 考古学（担当：會田容弘）

第1回：論文の書き方

「短大生のための論文の書き方」(會田私家版)のPDFデータをダウンロードし、熟読する。「私が考古学で知りたいこと」というレポートを作成し、提出する。提出されたレポートで授業の理解度を評価する。

第2回：問題設定

第1回で提出したレポートに対する教員からの回答と具体的な資料を提示する。具体的な資料とは考古資料である。この資料(写真)をどのような方法でもよいので調べ上げて、レポートを作成する。提出されたレポートで授業の理解度を評価する。

第3回：考古資料の記述

前回提示した考古資料が何であるかの解答。考古資料はどのように記述するのかの例を示す。さらに別な考古資料(実測図)を提示する。これを見て、レポートを作成する。提出されたレポートで授業の理解度を評価する。

● **家族社会学・女性史（担当：知野 愛）**

※自宅にある書籍や事典、またはネット検索により、次のことがらを調べ、関連することを
書き写す。用紙(自宅にある用紙、ノート、ルーズリーフなど)に各項目 40 字×10 行以上、
手書きで書く。文章の最後に、何から書き写したかを明記する(書籍名、ネット検索ならば
http://～というアドレスなどを記入)。授業開始後に提出すること。理解度 8 割以上を合格
とする。授業開始後、メンバー内でそのことについて発表しあう。

- 1, 論文の書き方について(レポートとの違い、注意点、論文構成、調査の仕方など)
- 2, 津田梅子の生涯について
- 3, 与謝野晶子の生涯について

● **情報処理（担当：山口 猛）**

卒業研究で取り組みたいテーマについて調べ、自分の考えを A4 用紙 1 枚にまとめてお
くこと。授業開始後、各自調べてきた内容について発表を行い、検討する。

● **博物館学（担当：仲田佐和子）**

第 1 回～第 3 回

課題

関心を持った書籍を 1 冊以上選び、読み進めてください。

そのうちの 1 冊について、関心を持ったところを中心に、A4 判で 1 枚以上にまとめて
ください。授業開始後の初回の授業で提出していただくとともに、発表してもらいます。

評価

書籍の内容を理解するとともに、新たな視点の気づきや疑問点の発見などがあること。

● **日本史（担当：佐藤愛未）**

*シラバス 3 回分の課題

- 1) システムめばえにて、資料を配信します。授業で輪読しますので、必ず読んでおくこと。
- 2) 自分が卒業研究に取り組みたいテーマに関する本もしくは論文を読み、その要約および
それに対するの考えや補足で調べたことなどを A4 用紙 1 枚以上書くこと。その際、執筆者
についても必ず調べておくこと。

● **図書館情報学（担当：和知 剛）**

2020 年 2 月の段階で提示した課題内容に基づき、面接授業再開まで各自の研究を進めて
おくこと。

なお 2 月に指示した課題に基づくレポートは、4 月中に電子媒体を利用して、提出可能な
ところから提出することが望ましい。

● **絵画（担当：浅野 章）**

シラバス 3 回分の課題です。5 月からの授業開始時に出来上がった卒研作品制作計画案を提出してもらいます。なお、この課題の理解度が 7～8 割に達したことを前提として次の項目を評価の観点とします。①提出作品の目標達成度が 70%以上であること（配点 80 点）②課題に対する関心・意欲・態度（配点 20 点）

1－道具点検…各自油絵具や筆などを点検して不足分を確認する。授業に関連する道具や材料などを事前に調べておく。各自、卒業研究の目標を少しずつ決めていく。

2－静物画及び自由画どちらかのテーマを決め、少しずつエスキースを始める。

3－静物画、自由画の制作日程を自分なりに検討し、卒研作品制作計画案を作る。

● **デザイン（担当：小松太志・齊藤弘久・松田理香）**

[1～3 回分]

卒業研究のテーマとして取り組み、制作したいと思う分野・内容について調べ、参考となる資料を集めノートにまとめておいてください。授業開始日に確認・回収します。

<評価の観点>：この授業は、学科のディプロマ・ポリシーに照らして「創造的思考力」「課題解決力」「主体的行動力」の 3 つの観点から評価をします。積極的に資料を収集し、デザインの視野を広げてください。

● **彫刻（担当：黒沼 令）**

作品の構想のデッサンを自由に 3 つ描いておくこと。

その際、できれば素材やサイズなども考慮する、参考の作品や作者を挙げるなど、実制作の助けになる工夫をしてください。

◆提出方法：形式自由（スケッチブックなど）

◆評価の観点：①自分がつくりたいものが伝わる内容であるか

②十分に考えて構想しているか